

保育士自己評価チェックリスト

評価日 令和 5年 3月

常勤職員 9名

評価基準	A:かなりできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:ほとんどできていない				
	A	B	C	D	
総則	入園している子どもの最善の利益を考慮して保育にあたっていますか	7	2	0	0
	『全体的な保育の計画』に基づき、保育目標を定め保育を行っていますか	4	5	0	0
	子ども一人一人の人格を尊重し、自らの人間性や専門性の向上につとめ豊かな感性と愛情をもって保育にあたっていますか	8	1	0	0
	反省・課題 一人一人に合った声かけや保育を行う事が出来た。・保育目標を再度自分自身で、確認して保育を行って行った。・全体的な計画をよく見て、一人一人目標を持って関わることが出来た。・子ども達にとって最善と思われる対応に努めて行った。・小さくても、一人一人権利があることを念頭に置きながら関わるように努めた。一人一人の性格を理解し、その子に応じた関わりを行って行った。				
子どもの発達	子どもの発達は豊かな心情意欲態度を身に着け、新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	6	3	0	0
	『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』を理解し、子どもの発達の連続性に配慮して保育をしていますか	5	4	0	0
	反省・課題 次のステップを見据えて保育を行った。・キャリアアップ研修を受講し、深めた学びを実践していった。・子どもの発達を促す対応を心がけた。・年齢によって個々に応じた発達目標を達成出来るよう援助していった。・子どもの発達を考えた関わりをすることが出来た。・心が豊かに育つような態度を心がけていきたい。発達の連続性を意識した関わりを心がけている。・幼児期の終わりまでに育って欲しい姿を理解して、子どもの成長を促せるようにしていきたい。今だけではなく、子ども達の成長発達に繋がると意識しながら関わった。				
保育の内容	保育の内容は目標を具体化したねらいと、具体化した内容から構成されていることを理解していますか	5	4	0	0
	保育所保育は『養護』と『教育』が一体となって展開されることに留意していますか	6	3	0	0
	反省・課題 次のステップを見据えて保育を行った。・キャリアアップ研修を受講し、深めた学びを実践していった。・子ども達一人一人の発達段階を意識した対応を心がけた。・養護教育の両方を偏らずに保育が行える様に配慮していく。・具体化したねらいと内容について理解が浅いので、しっかり理解して保育をしていきたい。・計画を立てるとき、評価反省をするときに意識している。・日々の行動や伝えるときも、具体的に行動をするようにする。・具体的な保育計画を考え、保育を行う事が出来た。月案を基とし、保育を具体化し進めていった。・「養護」と「教育」は一体化であるため、あまり区別せずに保育をしているが、関わる年齢によってバランスを無意識にかえてしまい偏りが生じてしまう事があった。				
養護に関するねらいと内容	朝の健康観察を丁寧に行ったり、一人一人の平常の健康状態を的確に把握していますか	7	2	0	0
	子どもの特性や発達過程を踏まえ、常に清潔で安全安心な保育環境に心がけていますか	6	3	0	0
	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげていますか	9	0	0	0
	保育士等の温かい受容的な雰囲気や関りが子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育をしていますか	9	0	0	0
	「早くしなさい」などせかさず言葉を不必要に使わないで、一人一人の発達過程に合わせた対応を心がけていますか	5	4	0	0
	「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしていますか	6	3	0	0
	反省・課題 子どもの気持ちに寄り添い、一人一人の発達過程を意識した保育に努めた。・健康状態を視診し、安全面に十分配慮していった。信頼関係を築き、安心して過ごせるよう関わった。・急いでいる時でも、子どもを急かしたりしないようにしていく。怪我に繋がりがちな危険な場所を除き、制止するような言葉は多用しないようにしている。				
教育に関するねらいと内容	子どもが活動しやすいように、その都度、室内の温度や湿度調整、換気チェックをしていますか	7	2	0	0
	園庭や散歩など戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	8	1	0	0
	保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮していますか	7	2	0	0
	食事の前や排せつ後の手洗い等、清潔の習慣が身につくよう援助していますか	9	0	0	0
	子どもが見通しをもって意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしていますか	8	1	0	0
	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃からしていますか	8	1	0	0
	つまづきや葛藤、けんかなどを子どもの発達に欠かせないものとしてとらえ、対処していますか	8	1	0	0
	困っている友だちのことを心配するなど思いやりを持てるよう援助していますか	7	2	0	0

評価基準	A	B	C	D	
教育に関する ねらいと内容	保育士は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、すべての言動が子どもにとってモデルになっていることを常に意識していますか	7	2	0	0
	子ども同士が力を合わせて取り組む姿や協力して遊びを發展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高める関わりをしていますか	7	2	0	0
	子ども同士が思ったことを相手に伝えたり、相手の思いにも気づけるよう援助をしていますか	8	1	0	0
	身近な自然に触れようという疑問に対して美しさや不思議さに気づけるよう配慮し『なぜ?』という疑問に対して一緒に考えたり調べたりしていますか	5	4	0	0
	毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの一の違いや時刻などに関心が持てるような環境構成に配慮していますか	6	3	0	0
	信頼できる相手に伝えたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもの表情や姿をよく観察し、その場に応じた言葉かけをしていますか	9	0	0	0
	あなたは子どもがわからないことを訊ねたり、楽しい経験を話すなど安心して話せる雰囲気を作っていますか	9	0	0	0
	ありがとう、ごめんなさいなど生活に必要な言葉をいつも使えるように保育していますか	9	0	0	0
	歌ったり踊ったりして音や動きの楽しさや、様々な色・形・手触りに気づき、心地よさを感じる機会を作っていますか	5	4	0	0
	糊・ハサミなどいろいろな道具の使い方を一人ひとり丁寧に教えたり見守ったりしていますか	6	3	0	0
	一人一人の育ちやその日の様子など、職員間で連携をとり、職員全体で見守る体制ができていますか	9	0	0	0
	あなたの保育が、小学校以降の学習や生活の基盤につながることに配慮し、就学に向けて円滑な接続ができるよう小学校との連携を図っていますか	4	5	0	0
<small>反省・課題 ・月齢が小さくても、「ありがとう」「ごめんなさい」という気持ちを持てるようその都度伝えた。・日常生活の中で、マナーやルール等が身につけられる対応に努めた。・子どもが疑問を持つ前に、言葉で説明してしまう事があった。子どもの主体性を育めるような関わりをしていきたい。・日ごろから、健康・人間関係・環境・言葉・表現の領域について意識しながら関わっている。・どんなときでも、子どもが見ていることを意識して行動していきたい。・ねらいを持って関わり、子どもが成長することが出来る環境を整えられるように担任間で協力していった。・言葉に出来ない思いを代弁し仲立ちをしていた。子どもの「なぜ」に丁寧に関わることを意識していく。</small>					
保育の計画 及び評価	園の保育理念・保育目標・全体的な保育の計画などを理解していますか	6	3	0	0
	指導計画のねらいや内容を保護者にわかるように説明することができますか	5	4	0	0
	指導計画は必ず『全体的な保育の計画』に基づいて作成していますか	6	3	0	0
	行事は、その保育上の意義を十分検討したうえで、指導計画に組み入れていますか	4	5	0	0
	指導計画(年間・月・週)が実際の子どもの姿・心情・意欲・態度に合っているか自己の保育を振り返り、反省評価及び改善点を見直していますか	6	3	0	0
	あなたの指導計画の反省評価及び改善点は、次の指導計画作成に反映できるものとなっていますか	6	3	0	0
	その日あった出来事や気になる子どもの様子などを、その子どもにかかわる他の職員と共有することができますか	6	3	0	0
<small>反省・課題 ・どんな小さな事も、クラス担任間で話し合いながら進めた。・子どもの情報は園全体で共有し、誰もが対応していけるようにした。・子ども達の発達に応じた行事内容を設け、それに向け計画を立てて進めていった。・保育計画をたて、その都度その子に合った物になるよう修正しながら保育を行う事が出来るよう、努めて行った。・計画を立てるに当たり、保育の振り返りを見直し、次にかけるようにしていく。</small>					
健康と安全	保育中の事故防止のために、子どもの心身の状態などを踏まえ、施設内外の安全点検や全職員での安全対策の体制を図っていますか	8	1	0	0
	子どもが危険な場所や危険な遊びがわかり、安全に気づけて行動するよう指導していますか	9	0	0	0
	火災や地震などの災害の発生に備え、緊急時対応の具体的内容及び手順や役割を把握していますか	8	1	0	0
	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるよう雰囲気づくりや配膳の手伝いなど食事に興味をもてる工夫をしていますか	8	1	0	0
	子どもたちが、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心掛けていますか	7	2	0	0
	食物アレルギーの子どもに対し、家庭と連携しながら除去食などの配慮をおこない、誤食の予防対策としてマニュアルに沿った対応をしていますか	8	1	0	0
	食育の計画に基づいて、食育に関する取り組みを実践していますか	4	5	0	0
<small>反省・課題 ・どんな些細なことも、保護者と話す時間を作り、保育を進めた。・ヒヤリハットや食育等にも配慮し安心安全を心がけた。・子どもが心身に安心して過ごせる環境作りを心がけている。・子どもが安全に過ごせるよう見守りながら、食事に興味を持つことが出来るよう、食材を伝えていき、関わっていった。・毎月、避難訓練を実施し、避難経路の確認を行っていった。</small>					

評価基準		A	B	C	D
保護者に対する 支援	送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか	8	1	0	0
	一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っていますか	5	4	0	0
	家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方をしていますか	7	2	0	0
	あなたは、保護者が子育ての悩みや心配事をなどを安心して話せる存在になるよう心掛けていますか	7	2	0	0
	あなたの保育に批判的な保護者に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようと努力していますか	7	2	0	0
	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで園全体で受け止めようとしていますか	8	1	0	0
	反省・課題 ・安全に留意しながら保育を進めることが出来た。・保護者にも寄り添い、安心して子どもを預けてもらえるよう努めた。・保護者と適切な距離で子どものことや悩み等に受け止め寄り添う事が出来るように関わっていった。・保護者に対し好感を持たれるような話し方に努めていきたい。・その日の子どもの様子や、発達状況をノートや養護記録を記して伝えている。・保育参観以外に子どもについて話す機会が少なかったため、送迎の際保護者とコミュニケーションを取り、悩み事など聞けるように関わりたい。				
職員の連携 資質向上	職員会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか	6	3	0	0
	園の内外における研修・研究活動及び自己研鑽により専門性を高める努力をしていますか	7	2	0	0
	職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしていますか	7	2	0	0
	自分の保育を振り返り、課題や問題点を見つけるとともに、その中で生じた疑問や悩みを上司や同僚に説明することができますか	7	2	0	0
	一人ひとりの子どもの活動や姿をしっかりと記録に留めることができますか	7	2	0	0
反省・課題 ・どんな小さな事も、会議等で発言し情報共有を行った。・保護者や職員とも積極的に会話を行い、連携して保育を行える様努めた。職員同士でのチームワークを大切にしていた。・職員会議など他の先生の発言を聞くことが多かったため、疑問に思ったことは伝え、子どもの最善の利益を尊重できるよう努めていきたい。・園児一人ひとりの姿をしっかりと見つけ、会議などで情報を共有している。保育中の関わりで悩んだときは、すぐに先輩保育士に相談し、より良い関わりが出来るよう努めた。					
保育士の責務	毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するよう心掛けていますか	9	0	0	0
	子どもとよく遊び一緒に楽しんでますか	8	1	0	0
	子どもの発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜まず、保育に取り入れていますか	6	3	0	0
	子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助や環境構成を心がけていますか	7	2	0	0
	子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜園長や副園長・主任に報告連絡相談をしていますか	8	1	0	0
	子どもの名前はニックネームではなく、〇〇さん〇〇ちゃんなど丁寧な呼び方をしていますか	6	3	0	0
	子どもの個人情報を適切に扱うとともに、園内で知れた事柄や情報に対して守秘義務を遵守していますか	9	0	0	0
	あなたは創意と工夫を惜まず、喜びや意欲をもって保育をしていますか	9	0	0	0
	子どもの発達や成長に関する記録や帳簿類は適切に記載し、保管されていますか	9	0	0	0
反省・課題 ・言葉使いや、態度は十分に注意を払い保育を進めた。・守秘義務を遵守し、保育のプロとして正しい行いに努めた。・保育士としてきちんと責任を持ち、日々、より良い保育を行う事が出来るように努めた。・子どもが安心して過ごし、より良い発達の援助が出来るよう工夫して関わっていった。・どんなときでも、見本となるよう関わっていきたい。・挨拶や感謝の言葉をしっかりと伝え、より良い職場になるよう努めていった。					

今年度を振り返っての感想

・身体発達の遅い子や、言葉の理解の遅い子が多く見られ、担任間で話し合い、一人一人に合った保育や関わりを色々試しながら進め、年度の後半は大きな成長へと繋がった。職員同士協力し合い、子ども一人一人に寄り添った保育を行う事が出来た。・関わりに戸惑ったときは、先輩保育士に聞いたり調べたりと、子ども達がより楽しく生活が出来るよう、努めた。発達段階や関わり方だけでなく、自分自身がどれだけ影響をもっているか、子どもの成長に携わっているかを学ぶことが出来た。子どもと向き合う中で、子ども達にとって良い言動行動を取っていたのかなど反省した。・保育計画に基づき、実践を行って行った。その都度、評価反省を行う事で、気づくこともあり、改善して行く事が出来た。子どもの姿を良く見つめ、発達の連続性を意識した関わりを、心がけ育ちのサポートをしていきたい。・子どもの名前を呼び捨てにしてしまったり、急かすような言葉を掛けてしまうのが買ったので、子ども一人一人を尊重し、丁寧な保育を行って行きたいと感じた。・成長する過程や性格、家庭環境など違う事を理解し、その子にあった関わりをするよう努めていった。行事一つ一つにも、どんな意味があるのかしっかり考え、子ども達の成長発達を一番に考え保育を行って行きたい。・自分が担任として子ども達に関わる場合は、何に留意しなければいけないのかを考える機会を得て、自分の園での役割を意識して行動出来るようになったと感じた。